

### 第3回改善検証会議議事録

1. 日 時 2007年4月16日(月) 13:30~15:30
2. 場 所 加古川製鉄所 総合事務所 101会議室
3. 出席者  
兵庫県 健康生活部 環境担当部長 垣内 秀敏 殿  
環境管理局長 菊井 順一 殿  
東播磨県民局 局長 大鳥 裕士 殿  
加古川市 副市長 藤原 崇 殿  
環境部長 大浜 俊 殿  
弊社 専務執行役員 加古川製鉄所長 大西 功一  
常務執行役員 吉田 達樹  
執行役員鉄鋼部門技術総括部長 川崎 博也  
他随行者、事務局
4. 内 容

#### 4.1 挨拶

##### 【弊社】

現在、ばい煙問題について、事業所と本社が一体となり、先に策定した再発防止諸施策を進めているところであり、おおむね順調に進んでおります。

6号ボイラについては1月7日に再稼動となりました。「石灰定量切り出し装置」を設置し、硫酸化物除去剤である石灰を、火炉内に精度良く供給できるようになりました。御立会い頂くなど、皆様にはご苦勞をおかけすると共に、ご指導賜りまして有難うございました。

重要な課題となっている粉じん問題については、製鉄所北側の防じんネットがこのほど完成し、本日現地でもご確認いただきます。今後、鉾石ヤード及び石炭ヤード南側にもネット設置を計画しており概要をご説明いたします。

忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、宜しく願いいたします。

##### 【兵庫県】

これまでに、2回の改善検証会議およびWGを5回開催し、本件については県・市、神戸製鋼各々が納得のいくやり方ということで話をしてきた。この間に数々の大きな成果を残したと思う。防じんネットについても、支柱も当初考えていたよりも立派なものになっている。また、ここに来る途中で別府の公民館のモニターも見てきた。住民の目に見える環境対策をしてもらってありがたい。目に見えないソフト面での対策についても地元住民等へのPRをしっかりとお願いしたい。

現在、兵庫県においては環境保全協定の改定作業を行っている。神戸製鋼の取り組みが、ある意味他の企業の参考となる。これはまさに兵庫県が目指している環境と産

業という点で1つのモデルケースになりうると考えており、今後とも環境保全の観点でよろしくお願ひしたい。

#### 4. 2 新任委員の紹介

事務局から新任委員を紹介した。

【行政】 菊井環境管理局長  
大鳥東播磨県民局長

【弊社】 大西加古川製鉄所長  
川崎技術総括部長

#### 4. 3 取組状況について

##### (1) 全社の取り組みについて

- ①コンプライアンス教育や、環境教育・学習については、計画に則り完了した。
- ②環境管理体制・機能の強化については、事業所立入調査、環境監査を計画通り完了した。また、製鉄所等の環境データを本社で常時監視可能とした。
- ③外部委員も参画した環境管理委員会を2回実施し、改善対策の進捗を報告した。

##### (2) 事業所の取り組みについて

- ①降下ばいじんの目標値（対策効果の予測値）を2006年12月に計画どおり設定し、行政及び住民に説明した。
- ②防じん対策として、製鉄所の北側敷地境界に、高さ25mのネットを設置した。石炭ヤード、鉍石ヤード南側のネット設置について計画概要、設置効果のシミュレーション結果等を説明した。現在、詳細仕様を検討中である。
- ③6号ボイラに硫黄酸化物対策として導入した、石灰定量切り出し装置の概要及び運転データを説明した。排出基準値であるK値は低い値で安定している。
- ④新たに設置した環境管理システム（テレメートシステム）の概要について、透明性を確保する為のデータの流れや、二重化の状況について説明した。
- ⑤将来、原料品質の低下等によるNO<sub>x</sub>排出量の増加が想定されており、その対策として計画している脱硝設備の概要を説明した。

#### 4. 4 事業所見学

新環境管理システム（テレメートシステム）、製鉄所北側敷地境界防じんネット、南側ネット設置予定地（石炭ヤード、鉍石ヤード）等を確認頂いた。

#### 4. 5 討議

兵庫県より、粉じん対策ネット設置前後での効果の把握について質問があり、弊社から、ネットや密閉化、湿潤化、清掃等の粉じん対策の効果を増える5月から9月にかけての粉じん飛散状況や降下ばいじん量データ等により評価する旨を回答した。また、風上側のネット設置により、風速を減じ、粉じんが飛びにくくなることを説明した。

加古川市より、粉じんについて住民の方がどのように感じられるかであり、効果が体感となって現れてくるのは、5月以降ではないかとの発言があった。

兵庫県より、実態として所内がきれいになっているとのコメントがあった。また、目標値について（観測点の場所、適用時期、他社比較等）の質問があり、弊社より回答した。

兵庫県より、高砂市域でのモニタリングについて質問があり、弊社より、東からの風向頻度が少ない為、弊社独自のモニタリングは実施しない旨回答した。

兵庫県より、二重化した分析計の校正に関する標準化について質問があり、二重化した機器間に予め定めた以上の誤差が見られた場合、校正し、対応する手順を説明した。

#### 4. 6 おわりに

会議終了に際し、大西所長より、「ばい煙発生設備の管理値超過時には『止める』と言いつづけてきました。操業技術を磨き、現在は止めずとも管理値を守った操業ができるようになってきております。今後も愚直にやりつづけていきます。また、粉じんは夏が勝負であります。粉じん量の削減に向けて、住民のご意見を真摯に受け止めながら、対策をしっかりとやっていきます。今後ともよろしくご指導をお願いいたします。」との挨拶があった。

以上